

いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム

設立趣旨

今般、日本社会においては、少子高齢化の進行やグローバル化の進展、経済活動の変動など、社会情勢の変化の煽りが地方を席卷し、さらに、18歳人口の減少や、一層の都市一極集中が地域発展の痛手となり、その減衰に拍車をかけるといわれています。また、茨城県においては、東京至近の立地から、県南地域のベッドタウン化が進む一方、県北地域における人口流出が過多となり、人口減少とともに地域力の低下が危惧されています。

そのなかで、地域の一角を担う高等教育機関である大学及び高等専門学校（以下「大学・高専」という。）には、これまで行われてきた地域活動の支援はもとより、地域の知の拠点、あるいは中核としてそれをリードし、新たに創造する基幹として、大きな期待が寄せられているところです。また、大学・高専にとっても、地域の活性化は教育及び研究のさらなる発展をもたらすことから、その支援・協働は欠かせざる命題であり、安定かつ持続的な発展を見込んだ社会を形成すべく、地域教育の推進、人材の育成・輩出並びに定着の促進、研究成果やシーズの還元等シンクタンク機能発揮による産業振興など、地域貢献活動は不可欠な事業となります。

こうした地域の様々な要望や期待に応えるにあたっては、各大学・高専の特色を活かした個別集中型の支援もさることながら、互いの教育・研究力の向上を図りつつ、大学・高専同士が連携を強化し、地域のニーズを集約した上で、大学・高専の持つ知的・人的資源を積極的、かつ効果的に地域へ供給していく協働型の貢献が有効と考えます。

そこで我々は、県内各地域の歴史や伝統、風土や文化を尊重しながら、「まち・ひと・しごと創生法」の施行に基づく国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定、並びに茨城県における「県まち・ひと・しごと創生本部」の立ち上げ等を契機に、地方創生に関し大学・高専に求められる役割を主体的かつ積極的に果たすとともに、茨城県に所在する大学・高専が関係を深め、茨城県及び県内地方公共団体、並びに産業界等と連携・協働して地域の振興に寄与し、“いばらき”の発展に資するため、「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」を設立します。

平成27年3月31日

茨城大学（発起人）
〔以下、五十音順〕
茨城キリスト教大学
茨城工業高等専門学校
常磐大学